

千波公園のニーズ

※本資料は平成28年5月に策定した、『水戸市偕楽園公園（千波公園等）整備基本計画』策定の際に実施した市民アンケート等の調査結果です。

千波公園のニーズ整理

■各種団体からのニーズ（各種団体等からの意見）

- ・観光集客イベントの開催について意見・要望があります。
- ・ランニングステーション，ドッグランの設置について意見・要望があります。
- ・市街地との連携強化や環境保全や景観整備，未利用地の活用等について意見・要望があります。
- ・サービス施設（飲食施設，観光施設，子育て支援施設，健康増進施設等）の整備や公園施設（照明，駐車場，トイレ等）の整備改善について意見・要望があります。

■観光客視点でのニーズ(モニターツアー結果の整理)

- ・エリアやゾーン別にターゲット層や公園コンセプトを検討する必要があります。
- ・観光客と市民利用の目的の観点から公園機能を整理する必要があります。
- ・エリアやゾーン毎に特性を生かした魅力付けが必要です。
- ・飲食施設や物産施設の充実が必要です。（民間活力の導入についても検討が必要です。）
- ・団体客を収容するような大規模な飲食施設，物販施設がないため，他の市町村で飲食しています。
- ・通年を通してのイベントの開催を検討する必要があります。
- ・案内板の充実や観光ボランティアの育成，写真スポットの設置等，観光客が利用しやすい環境づくりが必要です。

■市民視点でのニーズ(千波公園(千波周辺)利用実態アンケート(市民アンケート)調査結果の整理)

- ・千波公園の利用向上に必要な施策は，自然環境の保全や景観に関するものや施設の維持管理に関するもの千波公園の文化や自然特性を生かした交流イベントや情報提供に関するものが多くなっています。
- ・千波公園までの交通手段は，7割以上が自家用車等利用です。
- ・千波公園に必要とされる施設は，「駐車場」，「飲食店」，「休息施設」，「ロッカー・シャワールーム」の要望が多くなっています。
- ・西の谷周辺やテニスコート周辺の認知度が低い状況です。

1) 各種団体等からの意見・要望

各種団体等から千波公園の施設・設備等についての意見・要望を以下のとおり，分類別に整理します。

【各種団体等】

- ・各団体からの要望（建築士会，商工会議所，各政党要望等）
- ・水戸市第6次総合計画の策定時における水戸市職員からの提案
- ・市議会の質問（平成20年以降）

【表-1】 各種団体等からの意見・要望

分類	意見・要望
■観光，集客イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客向けのイベントの開催 ・スポーツや観光イベントの開催
■サービス施設等の整備	【飲食施設】 <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ，飲食店の立地 ・千波公園内の遊休地への飲食店等の立地
	【観光施設】 <ul style="list-style-type: none"> ・水戸黄門博物館の整備 ・先人達の館等の整備 ・物産館の整備
	【子育て施設】 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援関連施設の整備（プレイルーム，図書館） ・休息スペースの確保
	【健康増進施設】 <ul style="list-style-type: none"> ・ランニング拠点の整備 ・シャワールーム，ロッカールーム等の整備 ・マラソンコース，サイクリングコースの設定

分類	意見・要望
■サービス施設等の整備	【レクリエーション施設】 <ul style="list-style-type: none"> ・ドッグランの整備 ・野外ステージ整備 ・野外バーベキュー場の整備
■公園付帯施設等の整備	【安全施設】 <ul style="list-style-type: none"> ・照明施設の更新（ソーラー化，LED化） ・ジョギングロードのフットライトの整備 ・歩道及び夜間照明の整備 ・照明灯の増設
	【駐車場】 <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場への障害者専用スペースの確保 ・少年の森の駐車場の拡張 ・千波公園駐車場の拡張 ・有料駐車場の料金値下げ ・観梅期の臨時駐車場の整備 ・消防学校跡地の暫定駐車場利用
	【トイレ】 <ul style="list-style-type: none"> ・トイレの改築
	【案内板】 <ul style="list-style-type: none"> ・障害者用駐車場を示す看板の設置
■公園の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの維持管理 ・遊具の管理等
■市街地との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセス性の向上（交通機関，駐車場） ・千波公園と市街地，水戸駅への散策ルートの構築 ・西の谷と市街地を結ぶエレベーターの整備
■環境保全	<ul style="list-style-type: none"> ・ラムサール条約の登録湿地へ ・千波湖の水質浄化対策 ・千波湖護岸整備
■景観整備	<ul style="list-style-type: none"> ・偕楽園の借景である千波湖の活用 ・美術館前（芝生）広場と水際の一体化 ・フラワーロードの整備
■千波公園の整備促進等	<ul style="list-style-type: none"> ・都市公園の環境保全・整備と今後の新たな魅力創出 ・レイクサイドボウルの跡地活用 ・研修センター跡地利用（地域交流拠点施設の整備） ・千波湖北岸や消防学校跡地の環境保全型の開発 ・千波湖周遊道路への自動車の乗入規制 ・偕楽園臨時駅の常設化と移設 ・西の谷ブリッジパークの整備

2) モニターツアー結果の整理

モニターツアーは、偕楽園や千波公園周辺の利用促進に向けて、観光客等のニーズを把握し、より良い環境整備を進めるため、現状での課題等について意見を把握するための調査です。

■第1回モニターツアー概要

実施日：平成27年3月18日（水）

天候：晴れ

対象者：旅行業者、雑誌等記者・編集者等（7名 男性3名、女性4名）

工程：上野駅→（鉄道）→水戸駅→（路線バス）→偕楽園（梅まつり会場）→（徒歩）→千波公園→（タクシー）→西の谷→（徒歩）→水戸京成百貨店→（徒歩）→意見交換会会場（サザン水戸ビル）→（徒歩）→水戸駅→（鉄道）→上野駅

■第1回モニターツアー主な意見

【千波公園について】

千波公園については、「食事をする場所が少ない」、「特色のあるイベント開催により振興させた方がよい」等の意見がありました。

【主な意見】

- ・水戸市が全体的にグルメに弱い。水戸らしい食べ物をその場で食べられない。
- ・どこで食事ができるのかわかりにくい。
- ・団体客を収容するような大規模な飲食施設、物販施設がないため、他の市町村で飲食している。
- ・千波公園の見所が少ないように見えた。
- ・偕楽園→千波公園→西の谷といった動線を作りたいのならば、千波公園に立ち寄りたいたい何かがある。わざわざ偕楽園から降りる理由がない。
- ・千波公園でももう少しイベントを振興させた方がよい（事例：大宮で開催した婚活リレーマラソン。（ゼッケンに食券付）→ランイベント+婚活+食イベント）
- ・季節に関係ない時期は、イベントによりPRした方がよい。
- ・水戸マラソンに仮装部門を設ける。

【西の谷について】

西の谷については、「テーマを設けて特色のある公園として整備した方がよい」との意見がありました。

【主な意見】

- ・大人のための公園としてイベントを開催することもあるのでは。
- ・京成周辺にはおしゃれなお店があったのでおしゃれな人が集まるフリーマーケットを開催する。
- ・大人の方が隠れ家的に利用しては。
- ・3世代を狙った公園とすることも考えられる。
- ・駐車場付近に食事ができる施設があれば。
- ・西の谷に桜を植えるのであれば、たくさん植えて桃源郷とした方がよい。
- ・ドッグラン、ツリーハウス等、特定の層を対象とした方がよい。
- ・西の谷は、ただの公園にしない方がよい。

■第2回モニターツアー概要

実施日：平成27年4月8日（水）

天候：雨

対象者：旅行者、雑誌等記者等（5名 女性5名）

工程：上野駅→（鉄道）→水戸駅→（路線バス）→偕楽園→（徒歩）→千波公園→（タクシー）
→西の谷→（徒歩）→水戸京成百貨店→（徒歩）→意見交換会会場（サザン水戸ビル）
→（徒歩）→水戸駅→（鉄道）→上野駅

■第2回モニターツアー主な意見

【千波公園について】

千波公園については、「案内板がわかりにくい」、「見る側の立場で情報発信がされていない」「観光資源として活用するならばここにしかないものを作る」の意見がありました。

【主な意見】

- ・海外からの観光客にとってわかりにくい観光案内。（パンフレット、看板等）
- ・看板等の案内にあるローマ字表記が小さい。
- ・日本語なら文字からなんの案内か想像できるが、ローマ字表記の説明なしだと名称だけ書いてあってもわかりにくい。
- ・スマートフォンのアプリ等で各地の案内をそれぞれ観光客に合わせた言語で案内をする。
- ・見る側の立場で情報発信がされていない。（初めて来た人にとって不親切）
- ・偕楽園、千波公園周辺に限らず案内してくれる場所や人が少ない。
- ・千波公園のターゲットが地元住民なのか観光客なのかコンセプトがわからない。（水戸市の回答としては「市民だけでなく県外、さらには国外からも観光に来ていただける公園にしたい」とのこと）
- ・千波公園のターゲットを現地の住民とするならば、今の案内でも十分。
- ・千波公園は運動公園のように見えて、それが偕楽園の利用者層が求めている公園の性質と正対な気がする。マッチングが難しい。
- ・植生を見ながら千波公園を楽しめるようなフットパスを用意する。
- ・千波公園を観光資源として活用するならば「ここにしかないもの」を作る。

【西の谷について】

西の谷については、「テーマを設けて特色のある公園として整備した方がよい」との意見がありました。

【主な意見】

- ・千波公園に比べて西の谷は憩いの場としてのポテンシャルを持っている。
- ・西の谷の整備が不十分。憩いの場になりえる場所なのにただ近道で使える素通り公園になってしまっているのがもったいない。
- ・西の谷自体が案内してもらわないと見つけられない。
- ・西の谷にベンチ等留まれるような設備を増やしてほしい。
- ・一日ゆっくりできる憩いの場にしたいのならば、近くに飲食できる店が欲しい。
- ・西の谷をキャンプ場にしたらどうか。
- ・西の谷でホテルを売りにしたらどうか。

■モニターツアーからの課題整理

【表-2】 千波公園についての意見と課題

モニターニーズ	課題
<p>■公園のコンセプト</p> <ul style="list-style-type: none"> 千波公園のターゲットが地元住民なのか観光客なのかコンセプトがわからない。(水戸市の回答としては「市民だけでなく県外、さらには国外からも観光に来ていただける公園にしたい」) 千波公園のターゲットを現地の住民とするならば、今の案内でも十分。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民向けか観光客向けなのかによって公園のコンセプトの方向性が違ってくるため、コンセプトを明確にする必要があります。 エリアやゾーン毎にターゲット層や公園のコンセプトを検討する必要があります。
<p>■利用者層</p> <ul style="list-style-type: none"> 千波公園は運動公園のように見えて、それが偕楽園の利用者層が求めている公園の性質と正反対な気がする。マッチングが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光客と市民利用の目的の観点から公園機能の分散化を検討する必要があります。
<p>■見どころ</p> <ul style="list-style-type: none"> 千波公園の見所が少ないように見えた。 偕楽園→千波公園→西の谷といった動線を作りたいのならば、千波公園に立ち寄りたいたい何か欲しい。わざわざ偕楽園から降りる理由がない。 植生を見ながら千波公園を楽しめるようなフットパスを用意する。 千波公園を観光資源として活用するならば「ここにしかないもの」を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> エリアやゾーン毎の特性を生かした魅力付けを検討する必要があります。
<p>■観光ガイド</p> <ul style="list-style-type: none"> 海外からの観光客にとってわかりにくい観光案内。(パンフレット, 看板等) 看板等の案内にあるローマ字表記が小さい。 日本語なら文字からなんの案内か想像できるが、ローマ字表記の説明なしだと名称だけ書いてあってもわかりにくい。 スマートフォンのアプリ等で各地の案内をそれぞれ観光客に合わせた言語で案内をする 見る側の立場で情報発信がされていない。(初めて来た人にとって不親切) 偕楽園, 千波公園周辺に限らず案内してくれる場所や人が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光向けのゾーンの検証と、案内板の充実を検討する必要があります。 海外からの観光客を意識した案内板等の見直しが必要です。 スマートフォン等に対応した観光アプリの活用検討が必要です。 観光ボランティアの育成や、おもてなしの雰囲気醸成が必要です。

<p>■ 飲食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水戸市が全体的にグルメに弱い。水戸らしい食べ物をその場で食べられない。 ・どこで食事ができるのかわかりにくい。 ・団体客を收容するような大規模な飲食施設，物販施設がないため，他の市町村で飲食している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食施設や物産施設の充実が必要です。 ・民間活力を生かした飲食施設等の検討が必要です。
<p>■ イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千波公園でもう少しイベントを振興させた方がよい。（事例：大宮で開催した婚活リレーマラソン（ゼッケンに食券付）→ランイベント+婚活+食イベント） ・季節に関係ない時期は，イベントによりPRした方がよい。 ・水戸マラソンに仮装部門を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既設イベントの魅力向上が必要です。 ・通年を通したイベントの開催が必要です。 ・イベントのPR方法の検討が必要です。

【表-3】 西の谷についての意見と課題

モニターニーズ	課題
<p>■ 公園のコンセプト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西の谷に桜を植えるのであれば，たくさん植えて桃源郷とした方がよい。 ・ドッグラン，ツリーハウス等，特定の層を対象とした方がよい。 ・千波公園に比べて西の谷は憩いの場としてのポテンシャルを持っている。 ・西の谷でホテルを売りにしたらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特性（自然系）を生かした地区整備方針の検討が必要です。 ・中心市街地との連携を生かした整備方針の検討が必要です。
<p>■ 利用者層</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人の方が隠れ家的に利用しては。 ・3世代を狙った公園とすることも考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園コンセプトと利用者層の設定を検討する必要があります。
<p>■ 施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場付近に食事ができる施設があれば。 ・一日ゆっくりできる憩いの場にしたいのならば，近くに飲食できる店が欲しい。 ・西の谷の整備が不十分。憩いの場になりえる場所なのにただ近道で使える素通り公園になってしまっているのがもったいない。 ・西の谷にベンチ等留まれるような設備を増やしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園コンセプトと利用者層から，施設機能を検討する必要があります。

<ul style="list-style-type: none"> ・西の谷をキャンプ場にしたらどうか。 ・西の谷自体が案内してもらわないと見つけられない。 	
<p>■ イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人のための公園としてイベントを開催することもあるのでは。 ・京成周辺には、おしゃれなお店があったのでおしゃれな人が集まるフリーマーケットを開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域性やまちなか（中心市街地）住民のニーズに合ったイベントの検討が必要です。

3) 千波公園（千波湖周辺）利用実態アンケート調査結果の整理

千波公園（千波湖周辺）の利用実態を把握するとともに、より良い公園整備を進めるため、市民を対象とした利用実態アンケートの結果については、以下のとおりです。

■ 利用実態アンケート概要

<p>発 送 数 : 1,130 件 (※水戸市内町丁別に人口割合で無作為に抽出)</p>
<p>調査期間 : 平成 27 年 4 月 10 日～4 月 30 日</p>
<p>調査事項 : 基本的事項 (性別, 年齢構成, 職業, 居住地)</p> <p>千波公園利用の有無</p> <p>千波公園利用実態 (利用目的, 利用頻度, よく利用する曜日時間帯, 利用者層, 交通手段, 感想, 情報源, 利用向上のための施策等)</p> <p>千波公園に必要と思われる施設</p> <p>千波公園の印象 (エリア別の雰囲気, 利用者層)</p>

■ 利用実態アンケート結果 (主な回答)

<p>発 送 数 : 1,130 件</p>
<p>回答総数 : 341 件</p>
<p>回 収 率 : 30.2%</p>

■ 利用実態アンケート調査（市民アンケート）の考察と課題整理

【表-4】 千波公園の利用目的（上位5つ）

	回答数	割合
1 ウォーキング	145	22%
2 散策	142	22%
3 子供を遊ばせるため	132	20%
4 ジョギング・ランニング	58	9%
5 自然観察	58	9%

市民の千波公園の利用目的は、「ウォーキング」が22%で一番多く、次にほぼ同じ割合で「散策」が22%、3番目には「子供を遊ばせるため」が20%の結果となり、他の項目と比べて占める割合が高くなっています。このことから、多くの市民の利用傾向として考えられるのは、①ウォーキングやランニング等健康増進を目的とした公園利用、②散策や自然観察等憩いややすらぎを目的とした公園利用、③子供を遊ばせることができる遊び場を目的とした公園利用が主な傾向となっています。

市民が求める公園の利用として、ウォーキングやランニング等「健康増進」や散策や自然観察等「憩いとやすらぎの場」、子供を遊ばせることができる「遊びの場」等の機能を充実することにより、より高い市民の満足度が得られると考えられます。

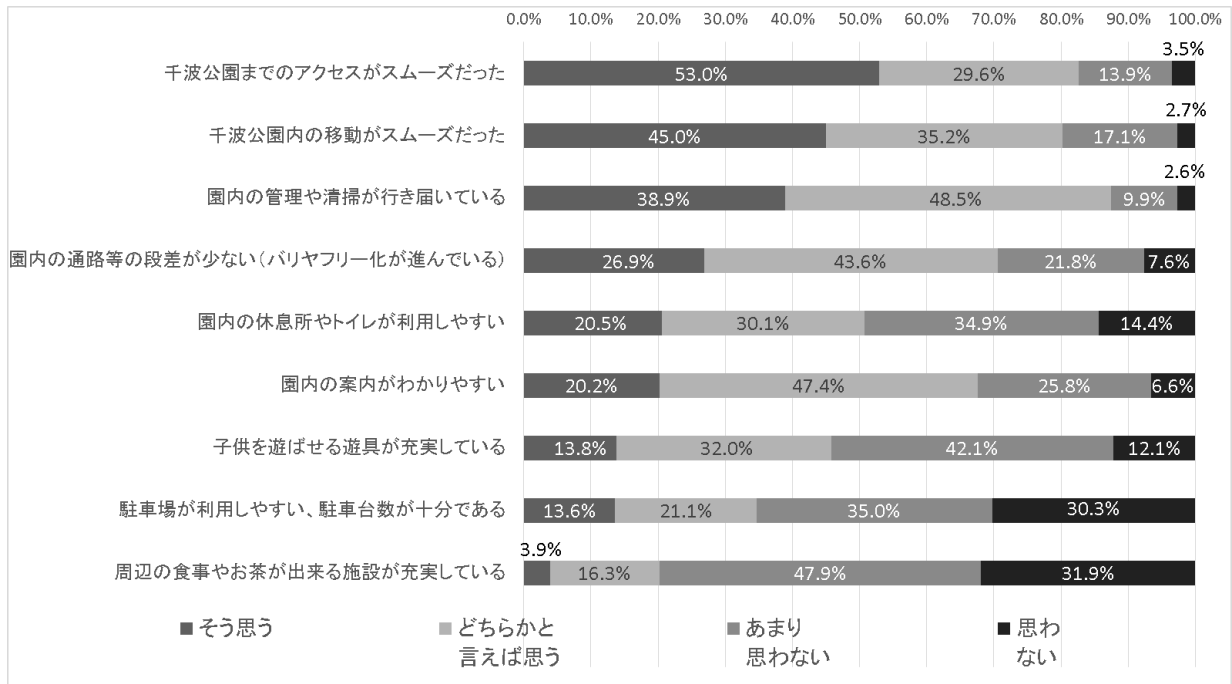
【表-5】 交通手段（上位5つ）

	回答数	割合
1 自家用車・バイク等	257	72%
2 徒歩	57	16%
3 自転車	36	10%
4 路線バス	7	2%
5 列車	1	0%

千波公園までの交通手段については、「自家用車・バイク等」が72%で突出しています。次いで「徒歩」が16%、「自転車」が10%の結果になりました。また、路線バスや電車等の公共交通機関の利用は2%程度の結果になりました。

千波公園までの交通手段は7割以上が自家用車となり、駐車場利用の課題が想定されます。一方、公共交通機関の利用が極端に少ないことから、公園利用者に対する公共交通の見直し等を検討し、自家用車に集中しない交通手段の分散化を検討する必要があります。

【図-4】 千波公園を利用した感想

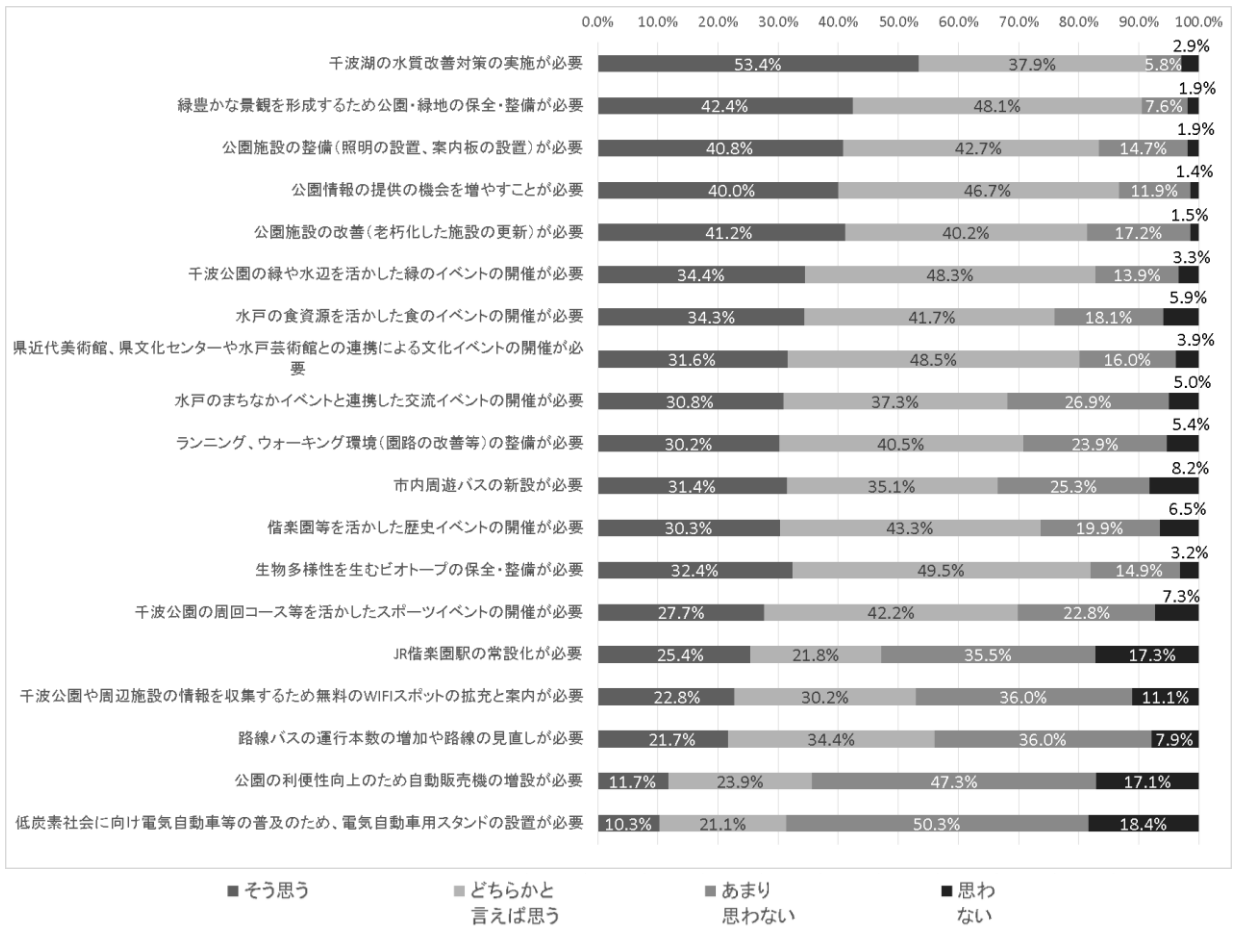


千波公園を利用した感想について、「園内の管理や清掃が行き届いている」に関して高い満足度が伺えるほか、「千波公園までのアクセスがスムーズ」「千波公園内の移動がスムーズ」「園内の通路等の段差が少ない」「園内の案内がわかりやすい」等についてアクセス性や園内の移動に関してストレスなく利用できていることが伺えます。一方、満足度が低い要因として、「周辺の食事やお茶ができる施設」「駐車場が利用しやすい、駐車台数が十分」「子供を遊ばせる遊具」等について不満が伺えます。

(※【そう思う】【どちらかと言えば思う】を同意できる意向として、【思わない】【あまり思わない】を同意できない意向と想定します。)

千波公園の利用に関して市民の満足度を得られる要因としては、食事や休憩ができる施設の充実、駐車場の拡充や改善、子どもを遊ばせる施設の充実等が望まれます。

【図-5】 千波公園利用向上のために必要と思われる施策

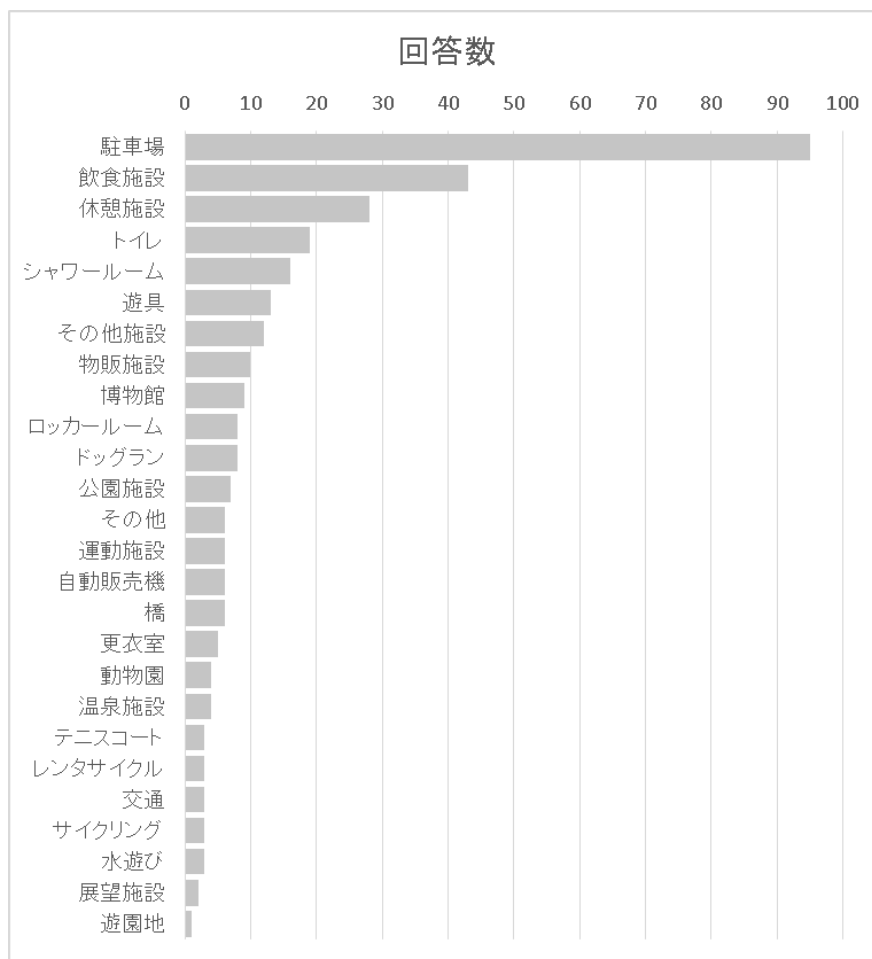


千波公園利用向上のために必要と思われる施策に関して、多くの項目で半数以上が必要であると答えており、千波公園利用向上のための市民の関心が伺えます。中でも8割を超える意向としては、「千波湖の水質改善」「豊かな景観形成と緑地の保全」「生物多様性を生むビオトープの整備」等自然環境の保全や緑の景観形成に高い関心が伺えるほか、「公園施設の整備（照明や案内板等）」「公園施設の改善（老朽化の更新）」等維持管理に関する要望、「近代美術館等の連携による文化イベント」「緑や水辺を生かしたイベント」「公園情報の提供機会を増やす」等千波公園の文化や自然特性を生かした交流イベントや情報提供を求める意向が高い結果となりました。一方、「電気自動車の充電スタンド」「自動販売機の増設」「偕楽園駅の常設化」等現状での利用度が低いと思われるものは、あまり必要としない意向結果となりました。

(※【そう思う】【どちらかと言えは思う】を同意できる意向として、【思わない】【あまり思わない】を同意できない意向と想定します。)

千波公園の利用向上に必要な施策として関心が高いものは、自然環境の保全や緑の景観形成に関するもの、公園施設の維持管理に関するもの、千波公園の文化や自然特性を生かした交流イベントや情報提供に関する内容が挙げられ、これらの意向を踏まえた施策の展開が望まれます。

【図-6】 千波公園に必要と思われる施設



市民が求める千波公園に必要と思われる施設に関しては、千波公園を利用した感想の課題要因と似た結果となり、「駐車場」「飲食施設」「休憩施設」が上位となっています。その他の施設としては公園利用者の目的に応じて必要な施設が分散される傾向になったと考えられます。

市民が求める千波公園に必要とされる施設については、「駐車場」「飲食施設」「休憩施設」の回答数が多いですが、その他の施設は公園利用者の目的に応じて回答が分散される傾向が伺え、優先すべき事項が絞りにくくなっています。その対応策として、千波公園の特性や利用者のニーズ毎に地区やゾーン分けを検討し、集中的にニーズに対するサービスを提供することで、公園利用者の目的に応じた高い満足度を提供することが必要です。

【表-6】 千波公園の地区別イメージ

	回答数						割合							
	歴史的な雰囲気	自然豊かな雰囲気	文化的な雰囲気	にぎわいがある	遊びや趣味が楽しめる	スポーツが楽しめる	印象がない、わからない	歴史的な雰囲気	自然豊かな雰囲気	文化的な雰囲気	にぎわいがある	遊びや趣味が楽しめる	スポーツが楽しめる	印象がない、わからない
1 西の谷周辺	13	80	1	1	8	3	167	4.8%	29.3%	0.4%	0.4%	2.9%	1.1%	61.2%
2 テニスコート、ゲートボール場周辺	0	7	2	2	12	115	130	0.0%	2.6%	0.7%	0.7%	4.5%	42.9%	48.5%
3 近代美術館、県民文化センター周辺	16	16	204	8	5	0	17	6.0%	6.0%	76.7%	3.0%	1.9%	0.0%	6.4%
4 せせらぎ広場、ハナミズキ広場周辺	0	163	2	6	26	3	58	0.0%	63.2%	0.8%	2.3%	10.1%	1.2%	22.5%
5 ふれあい広場周辺、さくら広場周辺	0	88	4	37	50	14	40	0.0%	37.8%	1.7%	15.9%	21.5%	6.0%	17.2%
6 少年の森周辺	0	71	0	30	82	17	37	0.0%	30.0%	0.0%	12.7%	34.6%	7.2%	15.6%
7 黄門像広場、好文cafe周辺	18	25	19	158	3	1	28	7.1%	9.9%	7.5%	62.7%	1.2%	0.4%	11.1%
8 湖面、湖岸	5	175	1	20	17	11	0	2.2%	76.4%	0.4%	8.7%	7.4%	4.8%	0.0%
9 周回コース(ジョギングコース)	1	51	1	22	15	141	16	0.4%	20.6%	0.4%	8.9%	6.1%	57.1%	6.5%

市民が感じている千波公園の地区別のイメージは以下のようになりました。

【①西の谷周辺】61.2%の人が「印象がわからない」と回答しており、当地区の市民の認知度が低いことが伺えます。次いで「自然豊かな雰囲気」が29.3%となることから、当地区を知っている人の印象としては「自然豊かな雰囲気」の印象となっています。

【②テニスコート周辺】48.5%の人が「印象がわからない」と回答しており、当地区の市民の認知度が低いことが伺えます。次いで「スポーツが楽しめる」が42.9%となることから、当地区を知っている人の印象としては「スポーツが楽しめる」印象となっています。

【③近代美術館、県民文化センター周辺】76.7%の人が「文化的な雰囲気」の印象であると回答しています。

【④せせらぎ広場、ハナミズキ広場周辺】63.2%の人が「自然豊かな雰囲気」の印象であると回答していますが、22.5%は「印象がわからない」と回答しています。

【⑤ふれあい広場、さくら広場周辺】37.8%の人が「自然豊かな雰囲気」と回答しています。次いで「遊びや趣味が楽しめる」21.5%、「印象がわからない」17.2%等、印象の傾向が分散しています。

【⑥少年の森周辺】34.6%の人が「遊びや趣味が楽しめる」と回答しています。次いで30.0%の人が「自然豊かな雰囲気」と回答しています。

【⑦黄門像広場、好文cafe周辺】62.7%の人が「にぎわいがある」と回答しており、他の印象と比べると高くなっています。

【⑧湖畔、湖岸】76.4%の人が「自然豊かな雰囲気」の印象であると回答しています。

【⑨周回コース】57.1%の人が「スポーツが楽しめる」と回答しています。次いで20.6%の人が「自然豊かな雰囲気」と回答しています。

千波公園の地区別のイメージとしては、地区の既存施設等から受ける印象が強い傾向であることが言えます。また、西の谷周辺とテニスコート周辺においては「印象がわからない」と回答した人が約半数にのぼり、地区の特色や認知度が低いことが伺えます。このことから西の谷周辺とテニスコート周辺においては、中心市街地に近接する位置特性を考慮しつつ、地区の特色とまちなか(中心市街地)との連携等を考えながら地区の方向性を検討していくことが望まれます。また、今回の調査では、歴史的な印象を受ける地区がなかったことから、隣接する日本三名園である偕楽園や水戸市が進める歴史まちづくりと連動した公園の雰囲気づくりが必要です。

【表-7】 地区別の利用者層のイメージ

	回答数				割合			
	大人が楽しめる	子供が楽しめる	ファミリーで楽しめる	わからない	大人が楽しめる	子供が楽しめる	ファミリーで楽しめる	わからない
1 西の谷周辺	52	4	38	167	19.9%	1.5%	14.6%	64.0%
2 テニスコート、ゲートボール場周辺	77	3	40	130	30.8%	1.2%	16.0%	52.0%
3 近代美術館、県民文化センター周辺	111	1	93	17	50.0%	0.5%	41.9%	7.7%
4 せせらぎ広場、ハナミズキ広場周辺	14	26	144	58	5.8%	10.7%	59.5%	24.0%
5 ふれあい広場周辺、さくら広場周辺	7	38	162	40	2.8%	15.4%	65.6%	16.2%
6 少年の森周辺	5	120	90	37	2.0%	47.6%	35.7%	14.7%
7 黄門像広場、好文café周辺	59	5	137	28	25.8%	2.2%	59.8%	12.2%
8 湖面、湖岸	26	6	174	0	12.6%	2.9%	84.5%	0.0%
9 周回コース(ジョギングコース)	79	1	139	16	33.6%	0.4%	59.1%	6.8%

千波公園の地区別の利用者層のイメージは以下になりました。

【①西の谷周辺】64.0%の人が「わからない」と回答しており、当地区の利用者層の印象が薄くなっています。

【②テニスコート周辺】52.0%の人が「わからない」と回答しており、当地区の利用者層の印象が薄くなっています。またゲートボール場があることから「大人が楽しめる」に30.8%の意見があったと考えられます。

【③近代美術館、県民文化センター周辺】「大人が楽しめる」が50.0%、「ファミリーで楽しめる」が41.9%と回答しています。

【④せせらぎ広場、ハナミズキ広場周辺】「ファミリーで楽しめる」が59.5%となっています。次いで「わからない」が24.0%と回答しています。

【⑤ふれあい広場、さくら広場周辺】「ファミリーで楽しめる」が65.6%となっています。次いで「わからない」が16.2%、「子供が楽しめる」が15.4%と回答しています。

【⑥少年の森周辺】「子供が楽しめる」が47.6%となっています。次いで「ファミリーで楽しめる」が35.7%と回答しています。

【⑦黄門像広場、好文café周辺】「ファミリーで楽しめる」が59.8%、「大人が楽しめる」が25.8%と回答しています。

【⑧湖畔、湖岸】「ファミリーで楽しめる」が84.5%と回答しています。

【⑨周回コース】「ファミリーで楽しめる」が59.1%、「大人が楽しめる」が33.6%と回答しています。

千波公園の利用者層としては、全体的な傾向として「ファミリーで楽しめる」の意見が多く、千波公園全体で見た場合にファミリー向けの公園としてイメージが強くなっています。地区別で見ると、近代美術館周辺は「大人が楽しめる」傾向が強く、少年の森周辺では「子供が楽しめる」傾向が強くなっています。また、西の谷周辺とテニスコート周辺においては、「わからない」と回答した人が半数以上にのぼり、当該地区の利用者層の印象が薄いと考えられます。このことから西の谷周辺とテニスコート周辺においては、地区の印象イメージとあわせて利用者層の設定を考えて行くことが必要です。これら千波公園の利用者層を考慮して、求められる施設機能を検討します。